

『特別支援学校中学部 国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 中学部第1学年教室

(3) 学年・学級 第1学年 A 組(4名)

(4) 単 元 名 分かりやすくまとめよう！

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

- ・言葉に親しみ、その良さに気付き積極的に活用できるよう物語の読解や作文、話し合い活動に取り組んでいる。
- ・主語・述語の関係や形容詞等の役割について学習している。

【単元のねらい】

- ・身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能)
- ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・文章に対する感想をもち、伝え合うことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・身の回りにあるマークについて理解を深め、順序立ててまとめる表現方法について学習することを通して、言語感覚を養い、日常生活で積極的に活用しようとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

【生徒の状況】

- ・学習した内容を、作文や発表の中で活用する様子が少しずつ増えている。
- ・言葉を通して相手に伝えたいという気持ちは強いが、物事を順序立てて説明することが苦手なため、時系列を無視して思いついたことを話してしまう様子が多くみられる。また、身の回りにあるマークについて、興味関心は高いが、意味については十分理解していない様子が見られる。
- ・鉛筆等で文字を書くことを苦手としている生徒や、緊張のためみんなの前で発表することを苦手としている生徒がいる。また、活動に見通しがもてないと不安になったり注意が散漫になったりする生徒が多い。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	1時間 ○マークを探そう ・知っているマーク(看板、案内板、標識、表示等)を発表する。 ・校内にあるマークを探しに行く。 ・発見したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	主体的に学習に取り組む態度
	2時間 ○街にあるマークを探そう ・学校から最寄り駅までの道中にあるマークを探す。 ・見つけたマークを ICT 機器等で記録する。 ・記録したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	知識・技能
第二次	2時間 ○学校から最寄り駅までの道順を作文しよう ・三つの構成(「最初に」、「次に」、「終わりに」)で作文する。 ・前時間に調べたマークの意味も作文に活用する。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現
	1時間 ○みんなで発表しよう ・前時間に考えた文章をクラスで発表する。 ・構成の分かりやすさなどを観点に感想を伝え合う。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等

特別支援学校 中高等部

受審番号

氏名

『特別支援学校中学部 国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 中学部第1学年教室

(3) 学年・学級 第1学年 A 組(4名)

(4) 単 元 名 分かりやすくまとめよう！

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

- ・言葉に親しみ、その良さに気付き積極的に活用できるよう物語の読解や作文、話し合い活動に取り組んでいる。
- ・主語・述語の関係や形容詞等の役割について学習している。

【単元のねらい】

- ・身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能)
- ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・文章に対する感想をもち、伝え合うことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・身の回りにあるマークについて理解を深め、順序立ててまとめる表現方法について学習することを通して、言語感覚を養い、日常生活で積極的に活用しようとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

【生徒の状況】

- ・学習した内容を、作文や発表の中で活用する様子が少しずつ増えている。
- ・言葉を通して相手に伝えたいという気持ちは強いが、物事を順序立てて説明することが苦手なため、時系列を無視して思いついたことを話してしまう様子が多くみられる。また、身の回りにあるマークについて、興味関心は高いが、意味については十分理解していない様子が見られる。
- ・鉛筆等で文字を書くことを苦手としている生徒や、緊張のためみんなの前で発表することを苦手としている生徒がいる。また、活動に見通しがもてないと不安になったり注意が散漫になったりする生徒が多い。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)		学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	1時間	○マークを探そう ・知っているマーク(看板、案内板、標識、表示等)を発表する。 ・校内にあるマークを探しに行く。 ・発見したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	主体的に学習に取り組む態度
	2時間	○街にあるマークを探そう ・学校から最寄り駅までの道中にあるマークを探す。 ・見つけたマークを ICT 機器等で記録する。 ・記録したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	知識・技能
第二次	2時間	○学校から最寄り駅までの道順を作文しよう ・三つの構成(「最初に」、「次に」、「終わりに」)で作文する。 ・前時間に調べたマークの意味も作文に活用する。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現
	1時間	○みんなで発表しよう ・前時間に考えた文章をクラスで発表する。 ・構成の分かりやすさなどを観点に感想を伝え合う。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等

特別支援学校 中高等部

受審番号

氏 名

『特別支援学校中学部 国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 中学部第1学年教室

(3) 学年・学級 第1学年 A 組(4名)

(4) 単 元 名 分かりやすくまとめよう！

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

- ・言葉に親しみ、その良さに気付き積極的に活用できるよう物語の読解や作文、話し合い活動に取り組んでいる。
- ・主語・述語の関係や形容詞等の役割について学習している。

【単元のねらい】

- ・身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能)
- ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・文章に対する感想をもち、伝え合うことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・身の回りにあるマークについて理解を深め、順序立ててまとめる表現方法について学習することを通して、言語感覚を養い、日常生活で積極的に活用しようとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

【生徒の状況】

- ・学習した内容を、作文や発表の中で活用する様子が少しずつ増えている。
- ・言葉を通して相手に伝えたいという気持ちは強いが、物事を順序立てて説明することが苦手なため、時系列を無視して思いついたことを話してしまう様子が多くみられる。また、身の回りにあるマークについて、興味関心は高いが、意味については十分理解していない様子が見られる。
- ・鉛筆等で文字を書くことを苦手としている生徒や、緊張のためみんなの前で発表することを苦手としている生徒がいる。また、活動に見通しがもてないと不安になったり注意が散漫になったりする生徒が多い。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)		学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	1時間	○マークを探そう ・知っているマーク(看板、案内板、標識、表示等)を発表する。 ・校内にあるマークを探しに行く。 ・発見したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	主体的に学習に取り組む態度
	2時間	○街にあるマークを探そう ・学校から最寄り駅までの道中にあるマークを探す。 ・見つけたマークを ICT 機器等で記録する。 ・記録したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	知識・技能
第二次	2時間	○学校から最寄り駅までの道順を作文しよう ・三つの構成(「最初に」、「次に」、「終わりに」)で作文する。 ・前時間に調べたマークの意味も作文に活用する。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現
	1時間	○みんなで発表しよう ・前時間に考えた文章をクラスで発表する。 ・構成の分かりやすさなどを観点に感想を伝え合う。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『特別支援学校中学部 国語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 中学部第1学年教室

(3) 学年・学級 第1学年 A 組(4名)

(4) 単 元 名 分かりやすくまとめよう！

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

- ・言葉に親しみ、その良さに気付き積極的に活用できるよう物語の読解や作文、話し合い活動に取り組んでいる。
- ・主語・述語の関係や形容詞等の役割について学習している。

【単元のねらい】

- ・身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能)
- ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・文章に対する感想をもち、伝え合うことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・身の回りにあるマークについて理解を深め、順序立ててまとめる表現方法について学習することを通して、言語感覚を養い、日常生活で積極的に活用しようとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

【生徒の状況】

- ・学習した内容を、作文や発表の中で活用する様子が少しずつ増えている。
- ・言葉を通して相手に伝えたいという気持ちは強いが、物事を順序立てて説明することが苦手なため、時系列を無視して思いついたことを話してしまう様子が多くみられる。また、身の回りにあるマークについて、興味関心は高いが、意味については十分理解していない様子が見られる。
- ・鉛筆等で文字を書くことを苦手としている生徒や、緊張のためみんなの前で発表することを苦手としている生徒がいる。また、活動に見通しがもてないと不安になったり注意が散漫になったりする生徒が多い。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)		学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	1時間	○マークを探そう ・知っているマーク(看板、案内板、標識、表示等)を発表する。 ・校内にあるマークを探しに行く。 ・発見したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	主体的に学習に取り組む態度
	2時間	○街にあるマークを探そう ・学校から最寄り駅までの道中にあるマークを探す。 ・見つけたマークを ICT 機器等で記録する。 ・記録したマークの意味を調べる。	一斉 個別又はペア	知識・技能
第二次	2時間	○学校から最寄り駅までの道順を作文しよう ・三つの構成(「最初に」、「次に」、「終わりに」)で作文する。 ・前時間に調べたマークの意味も作文に活用する。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現
	1時間	○みんなで発表しよう ・前時間に考えた文章をクラスで発表する。 ・構成の分かりやすさなどを観点に感想を伝え合う。	一斉 個別又はペア	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。